

辰クリ新聞

Vol.22

平成 28 年
6 月 8 日

医療法人社団裕人会
辰巴台クリンゲイケアセンター
TEL : 0436(76)8802

★屋外活動はじめました★

4月から5月にかけてリハビリの一環として、屋外活動を行いました。センターから辰巴台公園の往復約800Mの間で実施しました。この屋外活動は、普段なかなか屋外に出る機会のない方に、屋外に出て頂き気分転換を図ること、普段から屋外に出ていく方に対しては、歩行訓練として、外を歩く際はどのような事に注意しなければならないか、また、自分ほどの程度歩行することが出来るのかを確認するといった目的で行いました。

室内での歩行とは違い、屋外は目で見てわかるにくい凹凸がたぐさあり、公園内では砂や土がシルバーカーのタイヤを転がしていくせせました。実際に屋外を歩くことで細かな段差や路面の傾きに気付くことが出来ました。参加された方には、リハビリ職員から皆様に必要な注意点をアドバイスさせて頂きました。

今回屋外活動に参加された方の中からは「屋外での歩行に自信がついた」「退院後初めての外出ができていい気分転換になった」などのお声を頂きました。一方で、体力が続かず最後まで歩き切ることが出来なかった方、歩いている最中に膝や腰の痛みが出てきてしまったなど、課題が見えた方もいました。今回見えた課題を今後のリハビリの励みとし頑張っ

て頂きたいと思えます。

また季節の良い時期に企画致しますので、今回参加されなかった皆様もぜひ次回参加下さい。



高齢者疑似体験に参加しました！

日頃皆様のリハビリと身の回りのお手伝いをさせて頂いておりますが、不自由なく生活する中では分からないことがたくさんあります。今回、市原市社会福祉協議会の先生方をお招きし、高齢者疑似体験をする機会を得ることが出来ましたので紹介致します。

重りや拘束具を手足に付け、目には視界の狭まるゴーグルを装着し、歩行をしたり、新聞を読んだりしました。

真っ直ぐ立って歩くことも出来ず、介助なしでは小さな段差にもつまずきさつになりました。体の自由がきかなくなってくるのがどれだけ大変な事が改めて痛感いたしました。

今回の体験を通して学んだことを日々忘れず、今後も皆様のサポートをさせて頂きたいと思えました。



お知らせ ～酸素ボックス、はじめました～

辰巴台クリニックでは平成二十八年四月から、酸素ボックスを導入致しました。効果は疲労回復から、肩痛・腰痛など痛みの改善まで、幅広い適応が報告されています。ボックスの中は広く、最大6人まで一度に入ることが出来ます。パンフレットも用意しておりますので、興味がある方は、お気軽にスタッフまで相談ください。

設置場所：辰巴台クリニック リハビリ室内



新入職員紹介

小田 和美(介護職員)

明るく元気に楽しく頑張りたいと思いますので、皆様ご指導の程宜しくお願い致します。

細川 前穂(介護職員)

3月1日に入職いたしました。利用者様の生活の一助となるよう励んで参りますので、宜しくお願い致します。

梶山 智暁(リハビリ助手)

常に全力投球で頑張りますのでよろしくお願い致します。

出産・育児休暇

佐野 絵梨(理学療法士)

元気な赤ちゃんを産んで戻ってきます。それまで皆様リハビリ頑張ってくださいね！